



風は海から

令和4年2月28日
令和3年度
横浜市立西富岡小学校
学校だより No.11

新たなステップへ

横浜市立西富岡小学校
校長 黒田 由希子

立春を過ぎたとはいえ、厳しい寒さの日が続いていますが、吹く風に少しずつ春の気配感じられるようになりました。1年生が植えたチューリップも少しずつ伸びてきており、新しい1年生が入学してくるのを今か今かと待っているようです。早いもので、令和3年度もいよいよ最後の月を迎えます。4月当初、子どもたちは「こうなりたい」と様々な目標を立てました。次のステップまであと1か月、目標に向かって最後まで粘り強く取り組む姿を励まし、応援していきたいと思ひます。



6年生は小学校生活もあとわずかとなりました。6年生にとって小学校生活最後となるこの一年は、今まで楽しみにしていたこと、普通にできていたことができなくなるなど、大変な思いをした年となってしまいました。しかし、この状況でも工夫しながら学校生活や行事を行い、6年生としての大切な思い出を少しでも残すことができたのではないかと思います。

小学校生活最後の運動会。分散開催となってしまいましたが、今年は演技をプログラムに入れ、沖縄のエイサーを披露しました。短い練習期間でしたが、子どもたちはタブレットで動きを確認したり、お互いにアドバイスし合ったりしながら一生懸命にエイサーの練習していました。当日は、見事に揃った演技に、感動の拍手が沸き上がっていました。日光宿泊体験学習は、コロナが少し落ち着いた11月に、感染症対策をしながら実施しました。日光江戸村ではグループ行動となり、広い村内を友達と協力しながら回る姿が見られました。日光に雪が降り、横浜とは違う景色に驚くとともに、壮大な日光の自然や歴史の重みを十分に堪能することができました。何より、友達と一緒に2日間を過ごしたことが、子どもたちにとっては大きな喜びだったようです。どちらの行事も、自分たちでどのようにしたらできるのかを考え、やるべきことを意識して行動した結果です。できないことも多くある中で、できることを模索し実行していくこと。この経験が、子どもたちの今後を生きる力となってくれたらと願ひます。

3月18日、今まで最上級生として西富岡小学校を引っ張ってってくれた6年生は、中学校への期待と希望を胸に新たなステップを踏み出します。卒業する子どもたちにとって、西富岡小学校が、温かい場所としていつまでも心の片隅に残ることを願ひています。

保護者、地域の皆様にはこの1年間、西富岡小学校の教育にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございました。来年度、西富岡小学校は50周年を迎えます。記念すべき年を迎える西富岡小学校。これからも温かく見守っていただけますと幸いです。